

multi_forward への外国のコールサインのアクセスについて

(一社) 日本アマチュア無線連盟
D-S T A R委員会

multi_forward は、D-STAR 新仕様書で定義した新機能をユーザーが利用して新しいプログラムを作成するときのサンプルとして作られたものです。

multi_forward は新機能の動作を確認する目的で当委員会の委員長が作成されたものですが、現在、利用者の増加に伴いシステムの負荷が急増しており、回避のための対策を検討中です。現在のシステム構成は、管理サーバーと同じサーバーを使用するため、負荷が増えればレピータの運用に支障をきたします。現に管理サーバ～レピータ間で、通信エラーが多発しているのが現状です。

管理サーバーには、個人情報保護法の対象となる個人情報が蓄積されています。このため、不正アクセスには神経質にならざるを得ません。現に multi_forward 稼働後における海外からの不正アクセスは著しく増加傾向にあります。よって、管理サーバーからの個人情報の漏えいを未然に防ぐために海外からのアクセスを制限することで、不正アクセスに対する防御策を講じております。

なお、個人情報の漏えいについては、管理サーバーへの海外からの DDoS 攻撃、データベースシステムへの不正アクセス等を確認しています。データベースへのアクセスは、漏えいした後は遅すぎますので、過去のアクセス状態等も考慮した制限をさせていただいております。

また、multi_forward 開発当初より外国のコールサインのアクセスについては、JARL D-STAR 委員会で検討してきておりますが、電波法関係審査基準の「28 公衆網接続」注4【形態1'】に該当するものと D-STAR 委員会では考えており、直接、外国のコールサインからの multi_forward へのアクセスは無線従事者の確認ができないために、現時点では、直接、外国のコールサインからの multi_forward へのアクセスをできないように措置を講じておりますがやむを得ない措置であると考えております。

これらの状況からも管理サーバー等への個人情報漏えいの防止や外国からの不正アクセスを排除するために、大変恐縮ですが、外国の IP やアドレス等からのアクセスについても制限をさせていただいておりますので、一部、外国在住で管理サーバーへの日本国内のコールサインをご登録いただいております方に

は、ご不便をおかけしますが、ご理解いただきますようお願いいたします。

multi_forwardにつきましては、D-STAR ユーザーの利便性向上のために試験運用を行っておりますが、電波法令に遵守したうえで、今後もユーザーの皆様のご意見等を参考にして改良していきたいと考えております。

以 上